安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している:
JIS Z 7252:2019; JIS Z 7253:2019

改訂日 03-11-2026
改訂番号 5

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 m7G(5')ppp(5')G RNA Cap Structure Analog

製品コード S1404

登録番号 情報なし

その他の情報 この文書は現地の法令では要求されていないが、情報提供を目的に提供される

安全データシートの供給者の詳細

製造者
New England Biolabs, Inc.
240 County Road
Ipswich, MA 01938
USA
Telephone: 978-928-5054
(toll-free) 1-800-632-5227
Fax: 978-921-1350

供給者
New England Biolabs Japan, Inc.
Kuramochi Bldg, 2nd 5F
2-3 Kotobashi 2-chome, Sumidaku Tokyo 130-0022
Japan
Phone: +81(0)3 4545 1421
Fax: +81(0)3 5669 6194

緊急連絡電話番号 Chemtrec +65 3163 8374

電子メールアドレス cs.jp@neb.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 この製品は研究開発専用です

使用上の制限 情報なし

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

区分に該当しない

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん／ミスト	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 - 急性	分類できない
水生環境有害性 - 慢性	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

危険有害性情報
危険有害性情報は不要.

安全対策
• 該当しない

応急措置
• 該当しない
保管
• 該当しない
廃棄
• 該当しない

他の危険有害性
情報なし.

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質

製品には、指定の濃度で健康に対して危険有害性であると考えられる物質は含まれていない.

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
該当しない

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと.

皮膚に付着した場合 皮膚を石けん(鹸)と水で洗うこと.

眼に入った場合 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。医師に相談すること.

飲み込んだ場合 口をすすぐこと.

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 粉じんは眼及び気道を刺激する.

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること.

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること.

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと.

特有の危険有害性 情報なし.

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること.

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない. 個人用保護具を使用すること.

その他の情報 警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある.

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 十分換気されているか確認すること.

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること.

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと.

封じ込め方法 拡散を最小限にするために粉末状の漏出物をプラスチック・シート又は防水シートで覆うこと. 漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと. 粉じん雲の発生を防止すること.

浄化方法 粉じんの発生を避けること. 粉じんが乾燥したままほうきで掃かないこと。掃く前に粉じんを湿らせるか、又は掃除機で粉じんを吸い取ること. 回収して適切に表示された容器に移すこと. 指定された個人用保護具を着用すること.

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること.

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項 皮膚及び眼との接触を避ける. 粉じんの発生を避けること. 粉じんを吸入しないこと. 十分換気されているか確認すること. 微細な粉じんが十分な濃度で空気中に分散し、かつ着火源が存在する場合には、粉じん爆発の危険性がある.

衛生対策 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと. 休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと.

保管

安全な保管条件 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること.

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない.

生物学的許容値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設

定された危険有害物質を一切含んでいない

設備対策 シャワー
洗眼場
換気システム.

環境ばく露防止 情報なし.

保護具

呼吸用保護具 適切な呼吸用保護具は、この製品の化学的性質、危険有害性及び使用法、ならびに現地当局の安全要件に従って選択し、使用しなければならない. ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる.

手の保護具 適切な手の保護具は、この製品の化学的性質、危険有害性及び使用法、ならびに現地当局の安全要件に従って選択し、使用しなければならない.

眼及び／又は顔面の保護具 適切な眼／顔面の保護具は、この製品の化学的性質、危険有害性及び使用法、ならびに現地当局の安全要件に従って選択し、使用しなければならない.

皮膚及び身体の保護具 適切な皮膚及び身体の保護具は、この製品の化学的性質、危険有害性及び使用法、ならびに現地当局の安全要件に従って選択し、使用しなければならない.

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 無色
物理状態 粉末
色 情報なし
臭い 軽度

特性	値	備考 ・方法
融点／凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		情報なし
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
SADT (°C)		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
n－オクタノール／水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び／又は相対密度		
相対密度		情報なし
蒸気濃度		情報なし
かさ密度		情報なし
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

その他の情報
VOC含有率 情報なし

10:安定性及び反応性

反応性 情報なし.

化学的安定性 通常の条件下で安定.

危険有害反応可能性 通常の条件下で安定.

避けるべき条件 情報なし.

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし.

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし.

爆発データ
静電放電に対する感度 なし.
機械的衝撃に対する感度 なし.

11. 有害性情報

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない.

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない.

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない.

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない.

物理的、化学的、及び毒性学的特性に関係する症状

症状 粉じんは眼及び気道を刺激する.

急性毒性 分類できない.

毒性の数値尺度 情報なし

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性／刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

呼吸器感作性又は皮膚感作性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない. 分類できない.

12. 環境影響情報

生態毒性 分類できない.

残留性・分解性 情報なし.

生態蓄積性 この製品のデータはない.

土壌中の移動性 情報なし.

オゾン層への有害性 分類できない. 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない.

他の有害影響 情報なし.

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること. 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること.

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと.

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG 規制対象外

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
情報なし

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

国内規則
項目15を参照. 消防法、毒劇法、高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法に該当する場合はそれぞれの規定に従う.

日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制
労働安全衛生法

通知対象物質・リスクアセスメント対象物質
該当しない
表示対象物質
該当しない

毒物及び劇物取締法
該当しない
消防法
該当しない
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)
該当しない

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律
該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー
インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること

16. その他の情報

改訂日 03-11-2026

改訂記録 改訂版

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例
リストにはこの製品に適用されない警句も含まれている可能性がある

ACGIH	米国産業衛生専門家会議
ADN	内陸水路による危険物の国際輸送に関する協定(欧州)
ADR	道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定(欧州)
AIIC	オーストラリア既存工業化学物質インベントリ
ATE	急性毒性推定値
ASTM	米国材料試験協会
bar	作業場における化合物の生物学的基準値
BAT	職業ばく露の生物学的許容値
BEL	生物学的許容値
bw	体重
天井値	最大限界値
CMR	発がん性物質、変異原性物質、生殖毒性物質
DOT	運輸省(米国)
DSL	国内物質リスト(カナダ)
EmS	非常措置指針
化審法インベントリ	既存及び新規化学物質(日本)
EPA	米国環境保護庁(Environmental Protection Agency)
GHS	世界調和システム

IARC	国際がん研究機関
IATA	国際航空輸送協会
IBC	危険化学薬品のばら積みの運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
ICAO	国際民間航空機関
IECSC	中国現有化学物質名簿
IMDG	国際海上危険物
IMO	国際海事機関
安衛法インベントリ	労働安全衛生法(日本)
ISO	国際標準化機構
KECI	韓国既存化学物質インベントリー
LC50	試験集団の50%に対する致死濃度
LD50	試験集団の50%に対する致死量(半数致死量)
MARPOL	船舶による汚染防止のための国際条約
他に品名が明示されているものを除く	他に品名が明示されていないもの
NOAEC	無毒性量
NOAEL	無毒性量
NOELR	無影響負荷率
NZIoC	ニュージーランド化学物質インベントリー
OECD	経済協力開発機構
OEL	職業ばく露限度
PBT	残留性、生物蓄積性、毒性物質
PICCS	フィリピン化学品・化学物質インベントリー
PMT	残留性、移動性、毒性
PPE	保護具
PRTR	化学物質排出把握管理促進法
QSAR	定量的構造活性相関
RID	鉄道による危険物の国際輸送に関する規則(欧州)
SADT	自己加速分解温度
SAR	構造活性相関
SDS	安全データシート
SL	許容付着量
STEL	短時間ばく露限度
STOT RE	特定標的臓器毒性 - 反復ばく露ロ
STOT SE	特定標的臓器毒性 - 単回ばく露
TCSI	台湾既存化学物質インベントリー
TDG	危険物輸送法及び規則(カナダ)
TSCA	有害物質規制法(米国)
TWA	時間加重平均
UN	国際連合
VOC	揮発性有機化合物
vPvB	高残留性、高生物蓄積性
vPvM	高残留性、高移動性
As	アレルギーを引き起こす物質
DS	皮膚感作性物質
Ot	聴力の障害をもたらすおそれがある
pOt	聴覚毒性物質 - 聴覚障害を引きおこすおそれのある物質
PS	光増感剤
RS	呼吸器感作性物質
S	感作性物質
poS	感作性物質 - 職業性喘息を引きおこすおそれ
Sa	単純窒息剤
Sd	経皮吸収
pSd	皮膚吸収 - 皮膚から吸収されるおそれ
Sdv	皮膚吸収 - 取消
Sk	経皮指標
dSk	経皮指標 - 皮膚吸収の危険性
pSk	経皮指標 - 皮膚吸収の可能性

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源
米国毒性物質疾病登録庁(Agency for Toxic Substances and Disease Registry, ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
米国環境保護庁(Environmental Protection Agency)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
米国有害物質データバンク(HSDB)
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation, NITE)
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
米国労働安全衛生研究所(NIOSH)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)の環境、保健及び安全に関する出版物
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)高生産量化学物質プログラム
国際経済協力開発機構(International Organization for Economic Co-operation and Development, OECD)スクリーニング情報データセット
国際連合世界保健機関(World Health Organization, WHO)

免責事項
このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している. この安全データシートで提供される情報は、発行日の時点における弊社の知識と信念の及ぶ限りにおいて正確な情報です。この情報は安全な取り扱い、使用、加工処理、保管、輸送、廃棄と放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証であると解釈することも品質明細書であると解釈することもできません。この情報は特定の物質のみに関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、この物質が他の何らかの物質と併用された場合または何らかの加工処理に使用された場合には有効でない場合があります。New England Biolabsは、製品の取り扱いまたは製品との接触の結果として生じるいかなる損害に対しても責任を負わないものとします.

安全データシートのおわり